

総合特別区域の進捗に係る評価
[ライフ・イノベーション分野]

令和2年度

東九州メディカルバレー構想特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年7月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.3+4)/2=4.2$

4.2

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	医療関連機器の市場化件数	208%	5
2	新規医療機器製造登録事業所・製造販売許可業者数	125%	5
3	新規輸出する医療関連機器を製造する企業	50%	2
4	新規海外医療技術人材育成数	539%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 3 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 1 + 1 \times 0) / 4 = 4.3$

4.3

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3+3.8+3.8)/3=3.5$

3.5

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.8

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・地域独自の財政金融支援を2県で行い、医療機器開発への参入を促進していることは評価できる。
- ・コロナ禍であっても、タイでの医療人材育成を着実に進めていることは評価できる。
- ・医療関連機器産業の集積については、これまでの取組で得られた連携体制やノウハウを生かし着実に進んでいることが評価できる。
- ・アジア等への医療機器の海外展開が意欲的に実施されている。「見守りシステム」等、新たな取組が実際の展開につながることを期待したい。
- ・新規海外医療技術人材育成については、目標値に対する進捗度がきわめて良好と言えるが、進捗度の数値を見ると、初期設定値が低すぎたとは考えられないか。どの時点で、何を持って人材育成を達成したのかということが共有されるのが望ましい。
- ・医療機器の輸出については、海外制度やニーズ調査について官学のより積極的なサポートが必要だと思われる。
- ・市場化件数の目標を着実に達成している背景に、地元の中小企業への支援による実績があると考えられるので、その「見える化」の工夫がなされることを希望する。
- ・海外医療技術人材育成に関しては、現地活動や海外人材交流の中止によりオンライン実施のみとなったと思われるため、人数とともに質の評価も検討する必要があるのではないか。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.2+3.5+4 \times 2) \div 4=3.9$

3.9

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。